

授業科目 レクリエーション活動援助法

【担当教員名】 佐藤ユリ子	対象学年	1	対象学科	社会（介護）	
	開講時期	前期	必修・選択	介護福祉コース必修選択	
	単位数	2	時間数	60（うち30時間）	
【<概要>又は<一般目標：G I O>】					
<p>レクリエーション活動の社会的意義と援助活動の実践的能力の向上を目指す。 レクリエーション活動を通して、高齢者・障がい者の活動支援について理解を深める。</p>					
【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】					
<p>1 レクリエーション活動の社会的意義を理解する。 2 レクリエーション活動の援助者としての役割について理解する。 3 レクリエーション計画の作成能力を習得・向上させる。 4 レクリエーション活動の実践援助能力を習得・向上させる。</p>					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO			
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	介護福祉サービスにおけるレクリエーション援助の意義	1	理論		
2	レクリエーションのもつ意味	1	理論		
3	レクリエーションと社会福祉	1	理論		
4	ワークショップ 遊びケア1 福祉アート	4	実技 クラフト		
5	ワークショップ 遊びケア2 ミュージックケア	4	実技 ミュージックベル演奏		
6	ワークショップ 遊びケア3 福祉レクリエーション	4	実技 ゲーム・健康体操		
7	ワークショップ 遊びケア4 ニュースポーツ	4	実技 スカットボール、ダーツ、		
8	ワークショップ 遊びケア5 回想法	4	実技 昔話		
9	事例研修	4	演習 グループ討議		
10	レクリエーションの利用者と援助者	2	理論		
11	レクリエーション活動援助とグループワークとの関係	2	理論		
12	グループワーク演習 1	2	演習 グループ討議		
13	グループワーク演習 2	2	演習 グループ討議		
14	グループワーク演習 3	2	演習 グループ討議		
15	試験				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新版介護福祉士養成講座6第2版「レクリエーション活動援助法」 中央法規			
参考書					
その他の資料		演習用の教材として。マジック、水彩絵の具、筆、大洋紙、色画用紙、クレヨン、色隠避津、ポンド 載り、折り紙、ポストイット、紙粘土、はさみ、習字紙、CD			
【評価方法】 出席、授業態度、期末試験、レポート		【履修上の留意点】 ・理論と演習のバランスを考慮する。 ・演習で体験したレク財の活用など、対象者に応じた応用を工夫させる			

社会福祉学科 専門